

エビデンス(根拠)に基づく不妊治療を重視する春木レディースクリニックでは、超音波プローブの消毒にもtrophon[®]2を活用しています。患者様目線を大切にするため、今回、患者様に「クリニックと超音波検査の感染対策意識」に関するアンケートにご協力いただきました。看護部門副部長の真崎さんと、その結果を見てみました。



カスタマーボイス
VOL. 2
Customer's Voice

春木レディースクリニック

Haruki Ladies Clinic

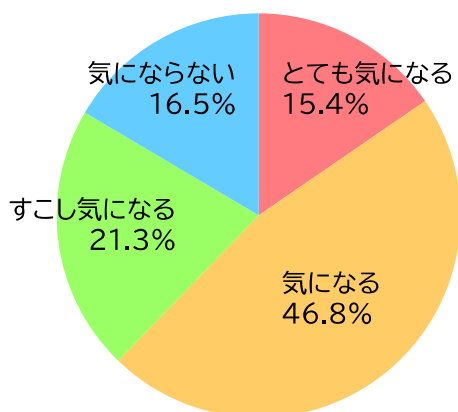
今回、3日間で188名の患者様にアンケート回答※にご協力いただきました。このようなアンケートはよく実施されているのですか？

真崎さん はい。当クリニックではスタッフの教育と並んで、患者様との対話も大切にしています。アンケートは、診療の中では気づきにくい患者様の「声」を聴くために実施しています。

では、最初の質問の回答から見てみましょう。院内の感染対策全般に関する質問です。「とても気になる」または「気になる」と回答された患者様が約6割と、私たちも“気になる”回答ですね。

真崎さん そうですね。やはり新型コロナウイルス感染症の流行にともなって感染対策の意識が社会全体で高まっているなか、院内の感染対策についても患者様の意識に変化があったのだと思います。

Q1. 施設を選択する際、院内の感染対策についてどの程度気にかけますか？



おもなコメント

- いつも綺麗で清潔感があるので安心です
- 院内で対策はきちんとされていると思い、通わせて頂いています
- 手指消毒に慣れてしまったので、各部屋に消毒があれば使いたいです
- 内診室の椅子の手すりが気になります。消毒液を入口のところに置いても良いのかな？と思います
- ドアノブやスリッパがすこし気になります
- 個室の換気状態が気になります

コメントではドアノブや椅子、スリッパなどについてのものが多かったです。内診室や内診台についてのコメントもありました。

真崎さん やはり手や身体に直接触れるものですから、気になりますよね。それにこれらは患者様の目につきやすいということもあると思います。

消毒薬に関する具体的な要望もありますね。

真崎さん はい。さっそく、内診室内にアルコール消毒液のディスペンサーを増設することにしました。いまでは街なかでもよく見かけようになりましたが、手指衛生はもっとも基本的な感染対策ですよ。とくに内診室は患者様にとってもデリケートなスペースですから、真っ先に改善する必要があると考え、実行しました。

すばやいアクションですね。

真崎さん 「いつも綺麗で清潔感があるので安心」とコメントいただいているように、患者様に選んでいただき、また安心して通院していただくために、院内の感染対策にも継続した改善が必要だと実感しています。

つぎに超音波検査(プローブ)についての質問です。まず全体の印象はいかがですか？

真崎さん やはり経腹よりも経膈プローブの方がその衛生管理について気になる割合が高いですね。経膈ではおよそ3/4の患者様が、多少なりとも気にしていられることが分かります。特に体外受精を選択される患者様は外来検査に加えて採卵時にも経膈エコーを使用するので、回数も多くなります。痛みや不快感、感染対策まで含めて患者様の不安を少しでも軽減できればと思います。

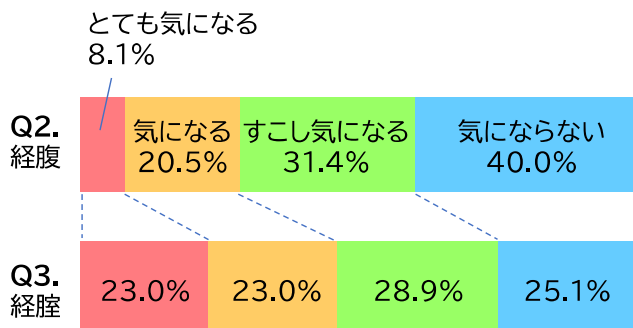
看護部門 副部長
真崎さん



※)アンケート概要: 2021年9月14日より16日まで、春木レディースクリニックの外来患者様を対象に無記名で実施、回答率98%

Q2. 超音波検査の際にお腹の皮膚に直接触れるプローブの消毒方法、頻度などはどの程度気になりますか？

Q3. 内診時の超音波検査で使用する経膈プローブについてはどうですか？



おもなコメント

- 医療機関で使用されているものなので、清潔だと信頼している
- 腔内に入れるので清潔か気になります。とくに生理中のときなど
- アルコールでどの程度殺菌されているのか？
- カバーがつけられているが、持ち手の部分を都度拭いているか気になる
- ゼリーを追加で付けた後、そのまま次の人に使われないようボトルから少し捨ててほしい

いただいたコメントについてはどうですか？

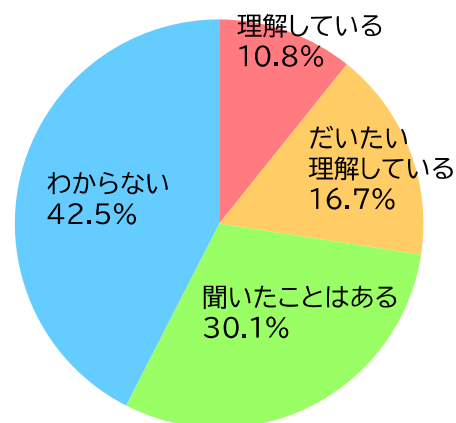
真崎さん 医療機器なので清潔だと信頼しているという嬉しいコメントを寄せていただいた一方で、やはり経膈プローブについてのコメントが目立ちますね。

また、プローブカバーやハンドル、アルコールの効果やゼリーの処理にまで具体的なコメントがあり、我々医療スタッフが思っている以上に感染対策について患者様の意識が高く、細かな処置までよく見られていると感じました。

ヒトパピローマウイルス(HPV)についてある程度知っている人は全体の1/4ほどでした。

真崎さん そうですね。ワクチン接種も再開されましたし、もっと関心を持ってもらいたいポイントです。でも、患者様から見えない、知らないところだからこそ、きちんとした対策が重要だと思います。

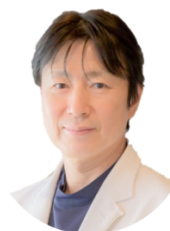
Q4. HPVについて知っていますか？



最後に、アンケートを通じての感想を聞かせてください。

真崎さん 来院される患者様の目線で考える事が大切だとあらためて感じました。実際にアンケートの声を参考に改善のアクションも実行できました。その他のご要望についてもスタッフ会議で検討を進め、より安心していただけるクリニックを目指してスタッフ一同真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

春木 篤 院長より



当クリニックでは新型コロナウイルス感染症流行以前より、採卵時の超音波プローブ消毒には高水準消毒装置trophon2を導入し、ヒトパピローマウイルス対策も含めた安全性を確保しています。今後もガイドライン等を参考に、患者様のより安全な超音波検査と治療

に注力し、また継続したスタッフの安全衛生教育も図っていきたく思います。



春木レディースクリニック

大阪市中央区南船場4-3-2 ヒューリック心斎橋ビル7階

販売名: trophon2(トロフォン2) / 管理医療機器 特定保守管理医療機器 一般的名称: 超音波診断用プローブ用洗浄消毒器 医療機器承認番号: 30100BZ100002000



Nanosonics Limited
(製造者)
7-11 Talavera Road, Macquarie Park
NSW 2113 Australia
www.nanosonics.com.au



JTP株式会社
(選任製造販売業者)
東京都港区三田3-13-12 三田MTビル4階
☎ 03 (6772) 8088
FAX 03 (6685) 6544



ナノソニクスジャパン株式会社
(販売者)
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-3 やまとビル8F
☎ カスタマーコールセンター 03 (6772) 8080
✉ info@nanosonics.jp
www.nanosonics.jp